

入院したらいくらぐらいがかるの？②

■入院時の「支出」と「収入」を考えると

入院したらいくらかかりますか？という質問をよくいただきます。答えは「人それぞれですが、個室に入院するかしないかで大きく変わります」。皆さんは自分自身が入院したらいくらかかるか把握していますか？また、「主人が入院したらいくらかかり、いくら減収になるか把握していますか？入院した時の出費や減収を把握し必要な分だけ医療保険でカバーしていくことをお勧めします。

A 主な収入

① 傷病手当金(公的健康保険に加入の会社員の方対象)
お給料×約3分の2×会社を休んだ日数÷3日 ※補償は4日目から最長1年6ヵ月まで
(傷病手当金とは病氣やけがで仕事を休み、給料が支払われない場合に出るものです。自営の方が加入している国民健康保険にはない制度です)

② 現在加入している医療保険
入院給付日額×入院日数ー免責日数(日帰りから保障の場合は免責なし)十手術給付金や通院給付金など

B 主な支出

① 公的健康保険の自己負担(3割部分)1ヶ月およそ9万円
② 入院中の食事代(一食260円×食事回数)
③ 差額ベット代(個室を希望すると別途かかる料金。日額5,000円程度)
④ 先進治療の技術代(先進治療を受けた場合)
⑤ 家事・育児の代行代(入院した人が主婦で子供が幼い場合のみ)
⑥ その他雑費(バジヤ・タオル・テレビ代快気祝い代などなど)
A収入ーB支出＝いくらでしようか？ Aの①は会社員のみもらえますし、Bの③④⑥は必ずかかるものではありませんので公的な健康保険の中だけの治療で個室を希望しなければ入院は1ヵ月10万円程度に抑えられる場合がほとんどです。

■必要医療保険保障額の目安(入院1日あたり)

医療保険に加入する時に悩むのが1日いくらにすればよいか？三大疾病に備える保障は？女性疾病特約は？などでしょう。現役時代は職業によつて、65歳以降は所得によつて異なります。目安は会社員・パート・専業主婦の方は5,000円～1万円程度。自営業・自由業の方は傷病手当金がないため1万～1万5,000円程度。また住宅ローンがある方は返済が終了する期間までは毎月の返済額÷30日の日額を上乘せておくくと安心です。

■医療保険のチェックポイント

現在の主流は日帰りや一泊二日から対象となるものがほとんどですが5年以上前加入し、見直しをしていない場合は5日目から保障タイプや「5日以上入院で1日目から保障タイプ」がほとんどです。また1回の入院で何日間支払われるかも決められています。これは「入院の保障限度日数」とパンフレット等に記載されていますがとても重要な部分ですので見逃さないようにしましょう。タイプは60、120、180、360日タイプなど。60日タイプは入院が60日までの支払いで、180日以内の再入院は一入院とみなされ保障限度日数までしか支払われません。

ナビゲーター

ファイナンシャルプランナー 伊藤 由美子 豊橋市在住



ファイナンシャルプランナーとして、住宅ローン、相続、保険の見直しを中心に相談業務を行う。また、カルチャースクールにてマネースクールを開講。女性向けに投資信託や株についてわかりやすくレクチャーし、好評を博す。
現在、FM豊橋パーソナリティとして「やしの実イブニングトレイン」(PM5～9時 ON AIR中)、東愛知新聞FPコラム「暮らしと経済」を連載中。

日本ファイナンシャルプランナーズ協会所属

【参考データ】日本人の3大死亡原因は1位ががん(30.4%)、2位 心筋梗塞・狭心症など(15.9%)、3位 脳血管疾患(11.8%)です。(平成18年厚生労働省「人口動態統計月報より」)
受ける治療の内容や病気の種類にもよりますが、ガン29.6日心疾患27.8日、脳疾患10.7日
*先月号で豊橋は6歳までは医療費負担がありませんと記述しましたが現在豊橋では9歳まで医療費負担がありません。お詫びと訂正を申し上げます。

★「お料理のお手伝いと公園に遊びに行きたい」 虹ちゃん(4歳)